

1万人が来場!

にぎわった第1回緑と花の百科展 —第2回を10月22日に—

富士市緑いつぱい市民の会では、第2回理事会をさきごろ開催しました。理事会では、第1回緑と花の百科展の反省や今後の事業計画など話し合いを行ないました。

緑と花の百科展は、6月18日市役所広

場で行ないましたが、11,283本の花や木が出陳され、約1万人の市民が押しかけ大盛況でした。11,283本の花や木のうち売れたのは7804。なかでもサツキが一番で964本、五葉松685本、モミジ476本、コノテガシワ300本などに人気集中。

カイズカイブキ 錦松などもよく売れました。観葉植物は大部分が午前中に売り切れるなど大変な人気でした。

また、会場でアンケートを取りましたが、ほとんどの人が緑と花の百科展を毎年何回か開くことを希望していました。この

ほか実のなる木をほしい、植木の小さな苗をもつとほしい、花と植木の場所をはっきり区別してほしいなどたくさんの意見がありました。

このように第1回目は大盛況で、多くの人から2回目の希望がありました。そこで、さつそく第2回を10月22日に開くことを決定しました。2回目も前回と同じように市役所広場で行ないますが、アンケートなどの意見を十分取り入れて実施します。

緑いつぱい市民の会は、花の会や婦人会など43団体3個人組織されています。同会は今後より充実した緑化運動を進めていくために全体を4つの専門部会に分け、仕事の分担をしました。なお、各専門部会は次のとおりです。

- 家庭・地域緑化部会＝家庭内への1本植栽運動、地域で緑化運動などを進めていきます。
- 公共施設緑化部会＝公園緑化や街路樹整備などの協力を行ないます。
- 工場・商店緑化部会＝工場内への樹木の植栽や商店街へフラワーポットなどの設置を進めます。
- 樹苗部会＝緑化運動の推進に必要な樹苗などの提供、病虫害の予防駆除などの研究指導などを行ないます。



【大にぎわいだった緑と花の百科展】

37人に河川監視員を

お願いしました

「川にゴミを投げ捨て、汚水を流す」「このために川がよごれる」「川から海へ流れ出たゴミで海岸をよごす」「雨が降って一カ所に集まったゴミのため、川は流れず水があふれ被害を出す」。このように、ゴミが環境を悪くし、災害の発生源にもなります。

そこで市は、河川の管理、河川の美化をはかるため「川をきれいにする運動」を進めています。この運動も市民皆さんの協力なくしては、机の上の計画に終わってしまいます。そこで、河川へのゴミ投棄防止と美化指導を行なうため市民による「河川監視協力員制度」を設け、7月20日、37名の方に委嘱しました。

監視協力員の任期は2年で、仕事は定められた区域内の河川を監視し、ゴミや汚水でよごれがひどい場所を発見したら市へ報告するとともに、よごした人に注意を与えます。また、区域内の人たちに河川美化の啓蒙などを行ないます。37名の監視協力員は次のとおりです。

伊藤実(浮島3) 後藤幸男(中里2) 渡辺忠行(中里新富町) 鈴木猛(江尾1) 望月助一(宇東川2) 塩崎兼雄(中島) 竹田文(滝川) 藤田章吾(大淵

2) 塚原広(吉原4)	遠藤武雄(伝法)	島) 伊藤茂(厚原)
鈴木時司(柚木)	杉沢計一(松岡)	東) 遠藤定雄(厚原)
後藤孝一(十兵衛)	鈴木稔(水戸島下)	吉野一郎(天間)
遠藤隆一(富士中島)	秋山好作(富士中島)	佐野一(久沢)
柚木竹寿(本市場)	大石清作(下横割)	渡辺安次(富士岡町1)
漆畑龍一(宮島)	金刺留夫(平垣)	1) 本多誠(富士岡花守町)
杉山弥太郎(蓼原)	植梶芳雄(五味島)	高橋実(東比奈2)
牧田荒太郎(蓼原)	赤池賢治(川成島)	石井次郎(中比奈町2)
川久保良作(鮫島)	川口保(本市場)	神尾信義(西比奈町1)
菅谷芳雄(本市場新田)	福田長三(森)	



【ゴミの不法投棄や汚れを監視します】